ファクトシート

金融サービス事業の主要指標

主要金融サービス事業各社の税引前利益(IFRS)の推移

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
SBI証券(単体)	百万円	11,623	33,344	34,828	37,850	33,043	46,169
FX事業※1	百万円	1,369	3,160	4,741	5,200	5,734	5,188
SBIマネープラザ	百万円	31	1,062	1,496	1,751	1,975	2,768
住信SBIネット銀行 (日本会計基準に基づく当期純利益)	百万円	1,622 (4,779)	2,062 (7,116)	5,196 (9,998)	3,385 (8,413)	3,185 (9,873)	3,770 (10,447)
保険事業※2	百万円	△5,111	△3,600	28	264	1,881	2,263

証券

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
証券口座数	千口座	2,609	2,944	3,246	3,564	3,840	4,261
口座数純増数	千口座	221	335	302	318	276	422
住信SBIネット銀行経由の累計口座数	千口座	—	299	362	415	452	538
NISA口座数	千口座	—	416	640	821	974	1,197
預り資産残高	兆円	6.4	7.6	9.4	9.5	10.8	12.9
ベーシス	bp	3.4	2.4	2.6	2.6	2.9	3.0
個人株式委託売買代金シェア※3	%	32.6	33.8	34.5	35.3	34.7	35.1
個人信用取引委託売買代金シェア※3	%	34.9	36.5	36.2	37.3	35.9	36.4
信用取引建玉残高	十億円	517	691	787	678	799	1,001
投資信託(残高)	十億円	722	844	1,155	1,216	1,323	1,675
投資信託(信託報酬額)	百万円	2,210	2,939	3,771	4,391	4,215	5,181
IPO引受社数実績※4	社	42	42	73	82	77	75
IPO主幹事引受社数実績	社	5	5	8	8	13	6
自己資本規制比率	%	383.5	323.4	318.6	377.0	276.2	372.7
FX口座数(SBIグループ※5)	千口座	325	470	612	760	906	1,066
SBIマネープラザ拠点数	拠点	—	361	393	380	386	414
SBIマネープラザ預り資産残高	百万円	—	405,478	561,270	698,358	801,279	1,105,023

SBI証券の沿革

年月		出来事
1999年	10月	イー・トレード証券(現SBI証券)にてインターネット取引開始
2008年	7月	SBI証券に商号変更
	8月	SBIホールディングスによる100%完全子会社化
2012年	6月	SBI証券の対面部門を分割しSBIマネープラザへ
2015年	7月	システム開発を行うSBI BITSを設立
	10月	FXカバー先のSBIリクイディティ・マーケット及びその子会社のSBI FXトレードを完全子会社化
2016年	10月	確定拠出年金のレコードキーピング事業を行うSBIベネフィット・システムズを子会社化
2017年	6月	SBIマネープラザを完全子会社化

銀行

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
銀行口座数	千口座	1,647	1,974	2,308	2,586	2,827	3,210
口座数純増数	千口座	278	327	334	277	242	383
SBI証券経由の累計口座数	千口座	557	695	820	956	1,073	1,259
預金残高合計※6	億円	26,910	30,767	35,761	34,468	40,068	44,260
預金残高(ハイブリッド預金)	億円	6,392	8,328	12,075	11,407	13,861	14,501
預金残高(外貨)	億円	1,333	1,554	1,591	1,602	1,739	2,460
住宅ローン取扱額※7	億円	3,433	3,943	5,025	4,717	7,293	6,970
コンシューマーローン残高	億円	1,656	2,111	2,395	2,799	2,908	3,021
資金運用利回り	%	1.10	1.06	1.08	0.90	0.85	0.83
資金調達利回り	%	0.40	0.33	0.31	0.22	0.14	0.14
資金粗利鞘	%	0.70	0.72	0.77	0.68	0.70	0.68
預貸率(末算)	%	41.97	45.11	50.83	60.27	58.72	71.96
連結自己資本比率(国内基準)	%	9.79	10.06	8.89	9.80	11.11	9.35

保険

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
保有契約数(SBI損保)	千	542	654	744	840	937	1,001
保有契約数(SBI生命)	千	—	—	117	110	108	109
保有契約数(SBIいきいき少短)	千	32	32	39	47	57	70
保有契約数(SBIリスタ少短)※8	千	11	12	13	13	15	15
保有契約数(日本少短)	千	—	—	—	—	509	540
コンバインド・レシオ(SBI損保)	%	103.3	98.8	100.4	104.7	96.7	91.9
正味損害率	%	69.9	72.4	77.6	86.1	82.5	80.7
正味事業費率	%	33.4	26.4	22.8	18.6	14.2	11.2
ソルベンシーマージン比率(SBI生命)	%	—	—	1,120.3	1,299.3	1,165.5	1,172.2
総資産(SBI生命)	百万円	—	—	156,453	140,281	131,484	125,348
責任準備金の残高(SBI生命)	百万円	—	—	126,271	110,762	103,400	98,049

※1 SBIリクイディティ・マーケット、SBI FXトレードの税引前利益の単純合算です。
※2 SBIインシュアランスグループ及びその傘下保険会社における税引前利益の単純合算です。
※3 個人委託(信用)売買代金÷{個人株式委託(信用)売買代金(二市場1、2部等)+ETF/REIT売買代金}にて算出しています。
※4 集計対象は新規上場企業の国内引受分で、追加売出分と海外は含んでいません。
※5 SBI FXトレード、SBI証券、住信SBIネット銀行の口座数の合算値です。
※6 住信SBIネット銀行(単体)の数値です。
※7 取扱額とは、住信SBIネット銀行が販売する住宅ローン(「ミスター住宅ローン」、「提携住宅ローン」)、同社が三井住友信託銀行(株)の銀行代理業者として販売する住宅ローン(「ネット専用住宅ローン」)、グッドモーゲージ(株)、SBIマネープラザ、アルヒ(株)、MXモバイリング(株)及び(株)アイ・エフ・クリエイトが同社の銀行代理業者として販売する住宅ローン(「ミスター住宅ローンREAL」)、「フラット35」の各融資実行額の合算値です。
※8 地震補償保険リスタの保有契約件数です。

アセットマネジメント事業の主要指標

アセットマネジメント事業の税引前利益(IFRS)の推移

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
公正価値評価の変動による損益及び売却損益	百万円	8,421	9,417	△4,315	16,225	6,836	44,409
SBI貯蓄銀行※1	百万円	—	4,011	16,672	5,846	5,649	14,018

SBI貯蓄銀行※1

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
正常債権残高	億ウォン	—	15,200	22,584	30,222	41,065	50,296
うちリテール	億ウォン	—	8,434	10,251	16,696	26,509	31,596
延滞率	%	—	46.1	26.8	16.2	8.8	5.3
うちリテール	%	—	21.1	16.5	8.5	5.0	4.2

プライベート・エクイティ投資等に係るアセットマネジメント事業の状況

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
グループ運用資産※2, 3	百万円	174,846	201,202	191,623	183,276	152,765	218,825
投資実行額	百万円	30,607	24,131	19,631	27,930	41,762	56,540
Exit数	社	12	12	14	16	15	13

プライベート・エクイティ等の投資残高の内訳※2, 3(2018年3月末現在)

業種別	金額(百万円)	社数
IT・インターネット	65,881	174
バイオ・ヘルス・医療	19,432	57
サービス	16,464	39
素材・化学関連	5,410	11
環境・エネルギー関連	13,318	9
小売り・外食	7,489	21
建設・不動産	1,095	4
機械・自動車	11,348	24
金融	65,890	44
その他	12,497	26
合計	218,825	409

地域別	金額(百万円)	社数
日本	68,783	159
中国	22,795	19
韓国	44,690	113
台湾	1,366	10
東南アジア	22,623	18
インド	5,407	12
米国	35,230	42
欧州	6,017	9
その他	11,913	27
合計	218,825	409

※1 SBI貯蓄銀行は2013年3月に子会社化したため、2014年3月期より記載しています。
※2 当企業グループによる直接投資及び当企業グループの運営する投資事業組合等による投資を合算して記載しています。
※3 投資残高は、直接投資については公正価値、投資事業組合等による投資については、上場株式は市場価格、市場価格のない非上場株式等は取得原価(減損処理を行ったものは減損処理後の金額)で評価しています。

アセットマネジメント事業における会計処理

ここでは、ステークホルダーの皆さまからのご質問が多い当社のアセットマネジメント事業における会計処理に関して詳しく説明します。

1. 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産（FVTPL）の公正価値の変動

SBIホールディングスが会計基準にIFRSを採用していることから、SBIグループが主にアセットマネジメント事業で保有する投資先企業の株式等の金融資産（営業投資有価証券及びその他の投資有価証券）の公正価値は、毎四半期ごとに評価を見直しています。

市場性のある有価証券の公正価値は、市場価格を用いて見積もっています。未上場株式等の市場価格のない有価証券の公正価値は、コストアプローチ、マーケットアプローチ等により算出する場合や、直近に行われた第三者への新株発行等の取引価格を採用する場合等があります。

金融資産の公正価値に変動があった場合は、以下のような会計処理がなされています。

投資先企業の公正価値評価の会計処理

例：投資先企業の公正価値が四半期間に20%上昇したと仮定する。

（単位：億円）

	2018年1Q	2018年2Q
公正価値	100	120

➡ 20億円UP

①SBIの100%子会社からの投資の場合

（単位：億円）

	2018年2Q
収益	20
税引前利益	20
税金（30%）	-6
四半期利益	14
親会社帰属	14
非支配持分	—

②連結ファンドからの投資の場合（ファンドへの自己出資比率：20%）

（単位：億円）

	2018年2Q
収益	20
税引前利益	20
税金（30%）	-1.2
四半期利益	18.8
親会社帰属	2.8
非支配持分	16

ファンドへの自己出資分に係る税金費用
-20億円×20%×30%=-1.2億円

（20億円×20%（ファンドへの自己出資比率））-1.2億円（税金）=2.8億円

20億円×80%（非支配持分）=16億円

2. SBIグループがGPを務める連結ファンドの管理報酬

SBIグループがGPを務める連結ファンドにおける管理報酬に関しては、以下のような会計処理がなされています。

連結ファンドから支払われる管理報酬の会計処理

例：SBIインベストメントがGPを務める総額1,000億円のファンド（管理報酬5%）にSBIホールディングスが20%出資していると仮定する。

なお便宜上、管理報酬の発生に係る会計処理を簡易的に示しており、連結調整に係る会計処置の一部を省略して記載しています。

1,000億円×5%=50億円

（単位：億円）

SBIホールディングス+SBIインベストメント	
収益	50
費用	0
税引前利益	50
税金（30%）	-12
純利益	38

内部取引として相殺

（単位：億円）

ファンド	
収益	0
費用	-50
税前利益	-50
税金	0
純利益	-50

➡

（単位：億円）

連結P/L	
収益	0
費用	0
税前利益	0
税金（税率30%）	-12
純利益	-12
親会社帰属	28
非支配持分	-40

SBIインベストメントにおける管理報酬に係る税金費用（-15億円）及びファンドの支払報酬（費用）のうちSBIホールディングスの自己出資分（20%）に係る税金費用（損失のため+3億円の減税効果）の合計
※-15億円 + （50億円 × 20% × 30%） = -12億円

※なお、SBIグループがGPを務めるファンドのうち、SBIグループの出資比率が極めて低いCVCファンド等については連結対象ではないため、その管理報酬は収益として計上されています。

バイオ関連事業の業績とパイプライン

主要バイオ関連事業各社の税引前利益(IFRS)の推移※1

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
SBIバイオテック	百万円	△ 821	△ 611	△637	△ 297	737	△ 432
クォーク社	百万円	△ 724	△ 721	△ 1,436	△ 2,572	△ 8,270	△ 7,902
SBIファーマ	百万円	△ 1,868	△ 1,083	△ 1,220	△ 1,425	91	42
SBIアラプロモ	百万円	△ 240	△ 176	△ 426	△ 587	△ 233	40
フォトナミック社※2	百万円	—	—	—	38	△ 41	55

※1 パイプライン等の減損損失は除きます。
※2 フォトナミック社は2016年1月に子会社化

SBIバイオテックの主な創薬パイプラインの進捗

	導出先(時期)	標的疾患	進捗	
MEDI7734 (Anti-ILT7抗体)	ビエラ バイオ社※ (2008年9月)	筋炎	フェーズⅠ	フェーズⅠの単回投与試験が終了し、結果を解析中
SBI-9674	協和発酵キリン(株) (2016年12月)	自己免疫疾患	前臨床 (協和発酵キリン(株)が開発推進中)	今後も開発進展に応じてマイルストーンペイメントの受領を見込む
Cdc7 阻害薬	カルナ バイオサイエンス(株) (2014年5月)	がん	前臨床 (2018年中に治験申請予定)	カルナバイオサイエンス(株)とシエラオンコロジー社がライセンス契約を締結しており、今後も開発進展によるマイルストーンペイメントの受領を見込む
GNKS356	自社研究開発	自己免疫疾患 (乾癬・全身性エリテマトーデス(SLE))	前臨床	AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)の希少疾病創薬推進事業の補助期間が2018年3月に終了。補助期間の研究結果を基に次ステップを検討
SBI-3150	自社研究開発	自己免疫疾患 (pDC/活性化B細胞に起因する各種疾患)	前臨床	開発コンセプトの優位性を活かし、導出に向けて複数社と継続的な検討・交渉を実施

※アストラゼネカ子会社のメディミューン社からスピンアウトした炎症・自己免疫疾患専門の新会社

クォーク社の主な創薬パイプラインの進捗

	導出先	標的疾患	進捗	
QPI-1002	ノバルティスファーマ社	腎移植後 臓器機能障害 (DGF)	フェーズⅢ	米国を中心にカナダ、ドイツ、ブラジル等75施設で最終段階の臨床試験を実施中
成功報酬総額: 670百万ドル(受領済み含む)		急性腎不全 (AKI)	フェーズⅢ	2018年7月よりフェーズⅢの臨床試験を開始。今後世界115施設に規模を拡大して臨床試験を実施する予定
QPI-1007	印バイオコン社	非動脈炎性前部 虚血性視神経症 (NAION)	フェーズⅢ	欧米等66施設でフェーズⅢの最終段階の臨床試験を実施中
PF-655	ファイザー社	緑内障、 糖尿病黄斑浮腫、 加齢黄斑変性	フェーズⅡa (終了)	次のステップの臨床試験を準備中

SBIファーマの主な創薬パイプラインの進捗

上市及びライセンスアウト（計5件）：

●脳腫瘍の光線力学診断用剤「アラグリオ®内用剤1.5g」（2013年9月に上市）

●糖尿病・マラリア治療薬（UAE製薬企業ネオファーマ社へ導出、2016年10月）

●膀胱がんの光線力学診断用剤「アラグリオ®顆粒剤分包1.5g」（国内独占販売権を提供した中外製薬（株）より販売、2017年12月）

●MENA及びインドにおける「アラグリオ®顆粒剤分包1.5g」を含む医薬品（ネオファーマ社へ導出、2018年3月）

区分	パイプライン プロジェクト	現在のステータス				今後3年間の進捗見込み
		フェーズ I	フェーズ II	フェーズ III	申請	
術中診断薬（PDD）	1 胃がん腹膜播種※	フェーズIII実施中				フェーズIII終了・ライセンスアウト
治療薬	2 シスプラチン腎症保護	フェーズII実施中				フェーズII終了
	3 ミトコンドリア病※	フェーズIII実施中		導出についても検討中		フェーズIII終了・ライセンスアウト
	4 虚血再灌流障害※	フェーズII準備中	英オックスフォード大学とバーミンガム大学病院で実施予定			フェーズII実施中
光線力学療法（iPDT）	5 脳腫瘍※（完全子会社の独フォトナミック社）	フェーズII準備中	英オックスフォード大学とバーミンガム大学病院で実施予定			フェーズII実施中

※医師主導治験

SBIファーマが2016年以降に取得した特許一覧（国内）※

発明の名称	特許登録日	共同出願人
がん性貧血改善・予防剤	2016年 2月12日	SBIファーマ単独
慢性腎臓病の改善・予防剤	2016年 2月12日	SBIファーマ単独
光線力学的診断剤、及び、フォトブリーチング防止剤	2016年 2月12日	東京工業大学
光増感剤又は5-アミノレブリン酸類を用いる光線力学的治療	2016年 2月19日	SBIファーマ単独
センチネルリンパ節がん転移識別装置	2016年 2月26日	SBIファーマ単独
免疫寛容誘導剤	2016年 3月25日	国立成育医療研究センター
移植臓器生着促進剤	2016年 4月 1日	国立成育医療研究センター
インフルエンザウイルス感染症の予防・治療剤	2016年 4月22日	徳島大学
放射線障害の予防及び/又は治療剤	2016年 4月22日	東京大学
PDT効果増強剤	2016年 5月20日	金沢大学、徳島大学
核磁気共鳴診断剤、及び、それを用いた、対象内の細胞、組織又は臓器の状態を検出又は診断する方法	2016年 8月 5日	熊本大学、産業医科大学
プロトポルフィリンIX生成促進用医薬組成物	2016年12月 2日	大阪市立大学
抗ガン剤の副作用の予防剤及び/又は治療剤	2016年12月 2日	高知大学
敗血症の予防剤及び/又は治療剤	2016年12月 9日	日本大学
がん性貧血改善・予防剤	2017年 2月17日	SBIファーマ単独
免疫寛容の誘導促進剤	2017年 7月14日	国立成育医療研究センター
フラタキシン増強剤	2017年 7月21日	東京農業大学
受精卵の正常発生率向上剤	2018年 1月26日	山形大学
臓器保存液	2018年 2月23日	国立成育医療研究センター

※2015年末までに26件の特許を取得しています。また国内で有する計45件のうち29件は海外でも特許を取得しています。